

問1 鎌倉時代から室町時代にかけての西日本における農業の変化について、中国との交流の影響を含めて説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2023年 長野県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 中国から伝わった収穫量の多い大唐米が広まり、二毛作の普及や、水資源を管理するための地域的な組織作りが進んだ。 | 2. シルクロードを通じてもたらされた小麦の栽培が奨励され、米を一切作らない裏作専門の農村が各地に形成された。 | 3. アイヌとの交易で得た強力な肥料を用いたことで、西日本一帯でそれまでの二毛作に代わる三毛作が開始された。 | 4. 中国へ輸出するための火薬の原料となる作物の栽培が、用水路の発達した西日本の平野部で急速に拡大した。 |
|---|---|--|--|

問2 鎌倉時代から室町時代にかけての日本国内における貨幣の状況について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。

（2026年 和歌山公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--------------------------------------|---|--|
| 1. 中国の宋や明から貿易によって大量に輸入された銅銭が、主な通貨として流通した。 | 2. 政府が和同開珎などの銅銭を国内で鑄造し、全国的な流通を強く促した。 | 3. 江戸幕府によって鑄造された慶長小判などの金貨が、全国の市場で中心的な役割を果たした。 | 4. 貨幣の代わりとして、各藩が発行した独自の紙幣である藩札が広く一般的に使われた。 |
|---|--------------------------------------|---|--|

問3 15世紀の日本では、有力な農民を中心に「惣村」と呼ばれる自治組織が作られました。当時の農民たちが、不当な支配に対抗するために土倉や酒屋を襲撃して求めた事柄として、最も適切なものを選びなさい。（2023年 茨城県公立入試 類似）

- | | | | |
|---------------|----------------|---------------|------------------|
| 1. 借金の帳消し（徳政） | 2. 関所の廃止と自由な通行 | 3. 新しい土地の開墾許可 | 4. 金山や銀山などの鉱山開発権 |
|---------------|----------------|---------------|------------------|

問4 室町幕府において、足利氏の一門である細川氏・斯波氏・畠山氏の三家から交代で選ばれ、将軍を補佐して政務を統括した最高の役職は何ですか。（2024年 香川公立入試 類似）

- | | | | |
|-------|-------|-------|---------|
| 1. 管領 | 2. 執権 | 3. 老中 | 4. 太政大臣 |
|-------|-------|-------|---------|

問5 鎌倉幕府と室町幕府の仕組みを比較した際、鎌倉幕府における「執権」に相当する、室町幕府で将軍を補佐して幕政を支えた役職として適切なものはどれですか。（2024年 滋賀公立入試 類似）

- | | | | |
|-------|-------|-------|---------|
| 1. 管領 | 2. 守護 | 3. 地頭 | 4. 鎌倉公方 |
|-------|-------|-------|---------|

問6 14世紀末から15世紀初めにかけて、室町幕府の第3代将軍である足利義満が明の皇帝から「日本国王」として認められ、正式に開始した貿易を何といいますか。（2017年 大阪公立入試 類似）

- | | | | |
|---------|---------|---------|----------|
| 1. 日宋貿易 | 2. 日明貿易 | 3. 南蛮貿易 | 4. 朱印船貿易 |
|---------|---------|---------|----------|

問7 足利義満によって始められた日明貿易で、「勘合」と呼ばれる札が用いられた理由として、当時の時代背景をふまえた最も適切な説明はどれですか。（2015年 佐賀公立入試 類似）

- | | | | |
|------------------------------------|--------------------------------|---|-----------------------------------|
| 1. 東アジアの海域で活動していた倭寇と、正規の貿易船を区別するため | 2. キリスト教の布教を目的とする宣教師の密航を阻止するため | 3. 有力な守護大名が独自に行っていた私貿易を、幕府が完全に管理・独占するため | 4. 元寇による被害に対する賠償金の支払いを、明側に証明させるため |
|------------------------------------|--------------------------------|---|-----------------------------------|

問8 鎌倉時代から室町時代にかけて、毎月決められた日に開催された「定期市」の開催回数が、月に3回（三斎市）から月に6回（六斎市）へと増加した背景として、最も適切な説明はどれですか。（2022年 奈良公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 生産力の向上によって余剰産品が増え、商業が活発化するとともに、貨幣が民衆の生活にまで広く浸透したため | 2. 戦国大名が市場の税を免除する政策を行い、座の特権を廃止して誰もが自由に商売を行えるようにしたため | 3. 特定の商人が「座」と呼ばれる組合を結成し、幕府や寺社に税を納めることで販売の独占権を得たため | 4. 交通の要所に物資の保管や運送を専門に行う「問丸」が登場し、遠隔地との取引を仲介するようになったため |
|---|---|---|--|

問9 鎌倉幕府が滅亡した後に後醍醐天皇が開始した「建武の新政」が、わずか数年で崩壊し、足利尊氏ら武士の離反を招いた主な理由として最も適切な説明はどれですか。（2026年 栃木公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 恩賞の配分などで武士の慣習を無視して公家を極端に優遇し、武士の不満が急速に高まったため | 2. モンゴル帝国の侵攻に対する防衛戦で、戦功を挙げた武士への十分な土地の給与が行えなかったため | 3. フランシスコ・ザビエルが伝えたキリスト教を保護し、仏教勢力との間に深刻な対立が生じたため | 4. 全国の守護に強い権限を与えすぎたことで、各地の守護が幕府から独立して戦国大名化したため |
|--|--|---|--|